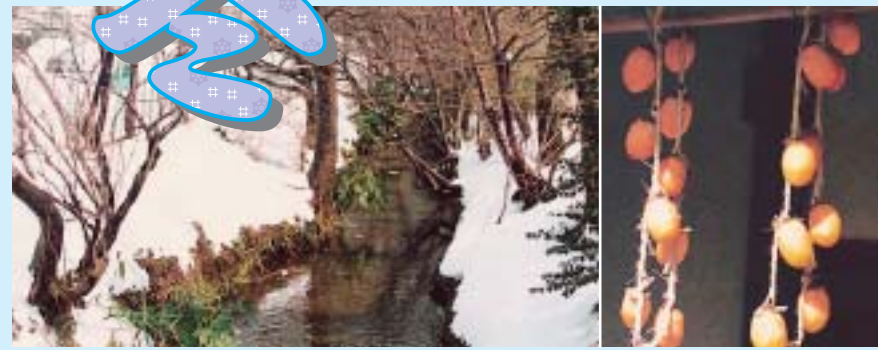


冬

グリーンロードを木枯らしが吹き抜ける季節です。



【12月】冬至 (下旬) …このころから大みそかにかけて、鏡もち、しめ縄を作る。すす払いなどの大そうじをする。みそかはらい (31日) …大みそかに神社でおはらいを受けた御幣を門口にさし新年を迎える。

【1月】正月、元旦…お雑煮を作り、家内安全などを祈願する。七草がゆ (7日) …春の七草でおかゆを作る。この日は「あぼひぼ」といって、あわとひえに見立てた木を立て豊作を祈願する。まゆ玉まつり (14日) …お米の粉で蚕のまゆの形のだんごを作り木の枝に刺して飾る。蚕びまち (15日) …養蚕が盛んだったころ、村人たちが集まって手打ちうどんを食べたりお酒を飲んで楽しんだ。

【2月】次郎正月 (1日) …旧暦の正月のなごりから、この日は仕事を休む。節分 (上旬) …「福は内、鬼は外」と言って、豆まきをする。小平では「鬼は内」と言っておまけもある。



4月はグリーンロード沿いの桜がきれいだよ。

グリーンロードを歩くと気持ちがいいよ。



【3月】桃の節句 (3日) …ひな人形を飾って、ひしもちをあげる。春のお彼岸 (下旬) …春分の日のお墓参りをして、「中目ぼたもち」「あけだんご」といって、ぼたもちやだんごを作る。

【4月】お花見 (上旬) …かつては玉川上水沿いの桜をたくさんの人々が見物に来ていた。

【5月】端午の節句 (5日) …1年前にとっておいた柏の木の葉を使って、かしわもちを作り、こいのぼりをあげる。

狭山境緑道や玉川上水の桜の花が開花します。コナラ・ケヤキが芽吹き始めます。

春



こだいら、うめ〜もの

②ゆでまんじゅう

〈20個分〉小麦粉500g あんご500g 白玉粉大さじ2杯半 熱湯450〜500cc

作り方

- ①あんを丸める。
- ②小麦粉に熱湯を少しずつ入れながら、水で溶いた白玉粉を入れてよく練る。
- ③あんを入れ、丸く包む。
- ④たっぷりの熱湯でゆでて、できあがり。



ゆでまんじゅうはおいしそうだね。



こだいらの歳時記

こだいらのまちは、四季折々に風景を変化させます。玉川上水を始めとするグリーンロードの自然と古くから続くこだいらの風習を歳時記にして紹介します。年の始めから身近な四季を探してみませんか。

取材協力 小平ふるさと村、小平民話の会



今でも市内に小麦の畑があるんだね。



こだいらの四季を伝える人

小麦を作る農家

川里弘之さん (花小金井三丁目在住)



昔から、こだいらには田んぼが少なく、農業の中心は麦作でした。市内で小麦を栽培している川里さんにお話を伺いました。昔は大根などの野菜を多く作っていましたが、今は小麦とさつまいもとうどの根株を栽培しています。さつまいもは、幼稚園の園児などが芋掘りに来られます。小麦は、毎年11月10日ぐらいに種をまいています。1町5反 (150アール) で小麦を作っています。1反あたり6俵ぐらいの小麦が採れます。農作業機を使っていっぺんにやっているので、昔と違って農作業は手がかからなくなりました。それでも収穫が多くなると重たいので、ひと苦労です。最近、近所の家はけやきを切ってしまうみたいです。昔は、農家の家では、庭が農作業の場だったり遊び場だったりしました。庭の木も子どもの頃から思い出があります。まちの木や変わらないまちの風景を残してほしいと思います。

こだいらの四季を伝える人

手打ちうどん作り

比留間美恵子さん (花小金井三丁目在住)

こだいらに伝わる代表的な味覚のひとつに「手打ちうどん」があります。昔ながらの手打ちうどんを今に伝える活動を続けている武蔵野手打ちうどん保存普及会の比留間さんにお話を伺いました。こだいらは田んぼが少なかったため、お米をあまり食べられませんでした。おかぼや麦が主食で、うどんやおだんごはごちそうでした。冠婚葬祭のときには、うどんが出ないとその席が終わらないほど大切なものでした。節句やお彼岸などの年中行事のときは、うどんを作って、いまでも食べています。作り方を小学校に教えに行くと、子どもはうどん作りを楽しみにしているようです。最近のうどん作りの講習会では、中高年のお父さんが積極的に参加しています。いろいろな人がうどんを作っています。麺はラーメンやスパゲッティもおいしいけれど、うどんが一番おいしいと思います。おいしい麺をあとあとまで伝えていきたいです。



手打ちうどんを作りたいな。



秋

小平団地のイチョウが黄色く色づき、グリーンロードなどで落ち葉のじゅうたんができます。



【9月】秋のまつり

(中旬) …市内の神社でまつりが行われる。

秋のお彼岸 (下旬) …秋分の日のお墓参りなどをする。

十五夜 (下旬) …すすきやだんご、栗、柿などを供えてお月見をする。

【10月】十三夜 (下旬) …すすきやだんごなどを供えてお月見をする。

【11月】亥の子 (9日) …「亥の子のぼたもち」といって新米でぼたもちを作り、大根の豊作を願う

小平ふるさと村

小平ふるさと村は、移築した旧山家住宅主屋をはじめ、復元住居や水車小屋などの建物があります。また、農村時代から伝わる年中行事なども再現しています。だれにでも参加できる

郷土学習などの講座も行っていきます。こだいらの昔を体験してみませんか。
所在地 天神町2-57 ☎042 (345) 8155
開園時間 午前10時〜午後4時
休園日 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日、年末年始



【6月】鎌洗

(中旬) …麦刈りが終わると鎌をきれいに洗って、お酒などを供える。

【7月】七夕 (7日) …竹を切って、庭先に立て、願いごとを書いた短冊をかざる。そうごあがり (28日) …畑仕事が休みの日で、うどんやまんじゅうを食べる。

【8月】お盆 (7月31日〜8月2日が多い) …盆棚を組んで、野菜を供え、先祖の霊を迎える。



玉川上水の木々が緑に繁ります。昔は水辺にホタルが舞いました。

夏

